

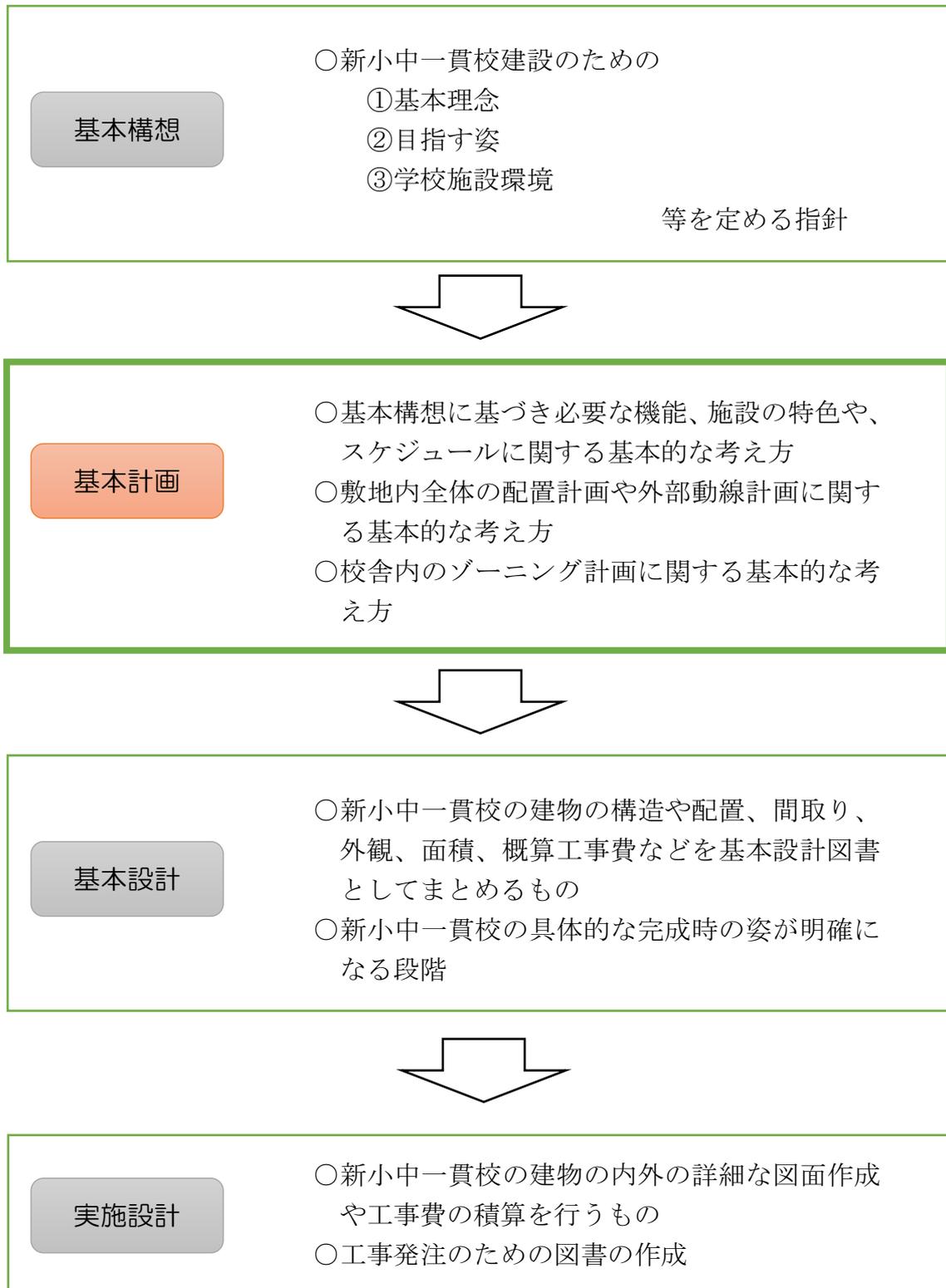
# 九戸村立小中一貫校整備基本計画

九戸村教育委員会

目次

第1章	基本計画の位置づけ	P. 3
第2章	基本構想	P. 4
第3章	基本計画	P. 8
1	九戸村立小中一貫校のコンセプト	
2	スケジュール	
3	計画地の状況	
4	新校舎の想定施設	
5	新校舎計画イメージ	

第1章 基本計画の位置づけ



第2章 基本構想

※九戸村小中学校建設等整備方針より

「生きる力」を身につけた九戸村の子どもたちの将来像

ふるさと「くのへ」を思い、夢に向かってはばたく人

- ・九戸村に誇りをもち、ふるさとを大切に思う人
- ・九戸村の歴史や文化、自然環境や産業等について学ぶことを通じて、人の営みを感じ、自分も地域のために何ができるかを考えようとする人
- ・未来に「夢」を広げ、その実現に向け「くのへ」で学んだことを基に歩んでいく人

「自ら考え、共に学び、高め合う子」	「人を大切にし、想像力が豊かな子」	「自ら健康で、たくましい心を育む子」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・問いを見出し、見通しをもって学習に向かい、自らを振り返る子ども</li> <li>・自分の考えを表現し、他者と切磋琢磨しながら見方・考え方を広げ、問題を解決する子ども</li> <li>・広い視野を持ち、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を身につけた子ども</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や家族、友だちなどの「人」の「命」「心」「体」を大切にする子ども</li> <li>・自分の考えと共に、他者の意見にも耳を傾け、尊重しながら物事を進めていくことができる子ども</li> <li>・相手の気持ちを想像できる思いやりをもつ子ども</li> <li>・将来に向けた「夢」を大きくもち、実現に向けて生きていくことができる子ども</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの健康を考え、生活をしていく子ども</li> <li>・困難に直面しても、最後まで粘り強くやり遂げる子ども</li> <li>・自らの役割に意義を見出し、責任をもってやり抜く子ども</li> </ul>

整備方針－基本構想（コンセプト）

<p>充実した学びを支える場（学習空間の充実）</p>	<p>①日照、採光、通風等に配慮し、柔らかで温かみのある感触や優れた調湿効果による学習環境を確保し四季を通して快適な施設とする。</p> <p>②将来の各施設部分の機能、需要等の変動に応じ、建物の自由な空間構成を可能とする適応性のある施設とする。</p> <p>③多様な学習内容・学習形態による活動を可能とするなど、高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設とする。</p>
<p>豊かな心の醸成を支える場（文化空間の充実）</p>	<p>①多様な体験を通して、豊かな人間関係を構築する施設とする。</p> <p>②地域の自然・歴史・伝統文化に触れ、特色を生かした教育ができる施設とする。</p> <p>③地域住民にとって交流・連携・協力の拠点として身近で使いやすい施設とする。</p>
<p>安全で健康増進を支える場（運動空間の充実）</p>	<p>①健康増進のため、機能的かつ安全に配慮した施設とする。</p> <p>②防犯上の配慮がなされ、子どもたちの安全を守る施設とする。</p> <p>③校内、通学路において、歩行者及び通行車両の安全に配慮した施設とする。</p> <p>④災害に対して安全・安心を確保できる強い施設とし、一時的な地域の避難所としての役割を果たす施設とする。</p>
<p>小中一貫校の教育機能を支える場（交流空間の充実）</p>	<p>①小中段階の区切りに対応したゾーニングや教室環境、年齢の異なる児童生徒が日常的に交流できる各室・空間や動線を配慮した施設とする。</p> <p>②障害の有無にかかわらず、すべての児童生徒が日常的に交流できる施設とする。</p> <p>③小・中学校の教職員が連携して教育内容の充実や学校運営の円滑化を図ることができる施設とする。</p>

前述のコンセプトを受けての具体的な構想案

<p>充実した学びを支える場（学習空間の充実）</p>	<p>①校舎の構造については、断熱性、気密性、Co2 濃度などの調整された、快適な学習空間の整備に努める。窓は広めにとり、明るい教室や廊下などの採光に配慮する。また、二重サッシ等により、断熱性、気密性を十分に考慮する。さらに、地域性を生かして、木造の美しさと RC の堅牢性を備えた自然と調和した建造物とする。壁・材質についても化学物質を使用しない有毒物質を排出しないようにする。</p> <p>②校舎内には、エアコン等を各部屋に設置し、冷房・暖房の経済効率を考えた空調設備を整備する。また、掃除・メンテナンス、教室の仕切りなどの使用目的に応じた配置替えも容易にできるようにし、教室間など用途に応じて汎用性がある施設とする。</p> <p>③教室の空間については、国の基準を基本としながらも、全体的に余裕空間のある教室を整備する。</p> <p>④国際化、情報化社会に対応し、各教室に Wi-Fi、タブレットなどの情報環境を整備し、教室内においても情報のやり取りができるようにする。また、各教室にホワイトボード、プロジェクター、スクリーン等を設置する。</p>
<p>豊かな心の醸成を支える場（文化空間の充実）</p>	<p>①職員室、図書館、特別支援教室、保健室、教育相談室交流ルームなどを校舎の中心に設置し、小学校と中学校相互が共有できる施設とする。</p> <p>②地域の歴史、文化、伝統などを幅広く学習できる施設とする。</p> <p>③美しい中庭などを設置し、教室や廊下から四季を通じて花を愛で、自然に対する愛着が強まるような施設とする。</p> <p>④地域の人たちに開放し、生涯学習にも対応できるような施設とする。</p>
<p>安全で健康増進を支える場（運動空間の充実）</p>	<p>①体力増進を図るため小中別に発達段階に対応した運動ができるよう運動場と体育館を整備し、冬期間でも運動できる施設とする。</p> <p>②低学年の児童、障害のある子どもの運動が可能なプレイルームを設置する。また、校庭には運動場の他に、年齢に応じた安全な遊び場、散策等ができる施設とする。</p> <p>③車椅子などのバリアフリーが、ユニバーサルデザインされた動線と、公共施設 2階建ての場合は、エレベーターが設置された施設とする。</p> <p>④多くの通学バスや乗用車が入り出ることから、車と人が交差し、事故などを起こさないように区割りされた乗車口を整備する。</p> <p>⑤バス乗車口と学校の歩行距離を長くすると、途中の見回り、誘導なども必要になってくるため、学校に隣接した乗車口を整備する。</p> <p>⑥地域の避難所として機能するよう整備する。</p>

<p>小中一貫校の教育機能を支える場（交流空間の充実）</p>	<p>①児童生徒の人間関係が固定化しないよう、親和性あふれた小・中学生、地域住民の交流ができるような施設とする。</p> <p>②小学校、中学校が一緒になり活動できるような多目的スペースを備えた施設とする。</p> <p>③特別な配慮を要する子どもの個別学習の充実、あるいは心身の安定を図るよう配慮された施設とする。</p> <p>④小・中学校の教職員が、児童生徒の生活状況等を把握し、学校生活の充実に向けた教職員の研修、会議ができる施設とする。</p> <p>⑤小学校に導入される外国語教育、プログラミングなど情報教育を小中教職員が研修できる施設とする。</p>
---------------------------------	--

### 第3章 基本計画

#### 1 九戸村立小中一貫校のコンセプト

### 施設一体型校舎による併設型小学校・中学校

- (イ) 学年段階の区切りに対応したゾーニングや教室環境の確保
  - ・様々な学年段階の区切りに対応できる段階的な居場所づくり
  - ・世代間の関わり合いを生む共有スペースの確保
  - ・性格の異なる2つのグラウンドを確保
- (ロ) 省エネルギーに配慮した校舎
  - ・パッシブエネルギーの活用を優先した施設
  - ・維持管理負担を軽減し、清潔で長寿命な施設
- (ハ) 九戸村の気候や風土に配慮した新校舎
  - ・安全や管理のしやすさに配慮した雪対策
  - ・九戸村の特色を反映させた校舎

#### 2 スケジュール

年	2019		2020		2021	2022
月	4	9 10	3	7	1	2 4
基本設計						
実施設計						
建設工事						
						2022 年度開校

## 3 計画地の状況

地名地番	九戸郡九戸村大字山根 10 - 3 (現九戸中学校)
都市計画区域	都市計画区域及び準都市計画区域外
防火地域	指定なし
法第22条地域	指定なし
道路	村道
道路幅員	6 m (東側)
敷地面積	50,699 m <sup>2</sup>
用途地域	指定なし

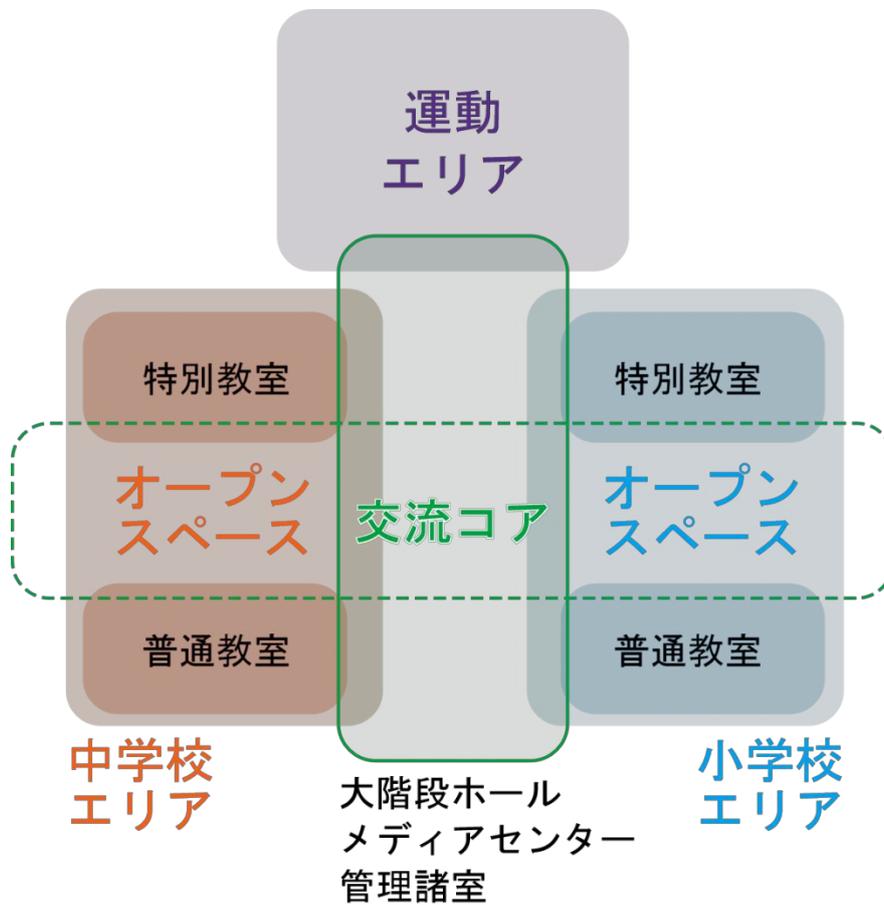


## 4 新校舎の想定施設

普通教室	普通教室（小学1年生～6年生用）	10室
	普通教室（中学1年生～3年生用）	6室
特別支援教室		小中各2室
多目的スペース	多目的教室（普通教室との密接な連携）	適宜
	多目的室（会議室・PTA室・地域交流室）	適宜
特別教室	英語教室	1室
	理科室	小中各1室
	図工室	1室
	技術室	1室
	美術室	1室
	家庭科室	小中各1室
	音楽室	小中各1室
	メディアセンター（図書室・PC室）	適宜
	教育相談室	適宜
管理諸室	校長室、職員室	各1室
	保健室	小中各1室
	生徒会室、児童会室、放送室	各1室
	教材室、書庫	適宜
	更衣室（男女）	各1室
その他	昇降口、職員玄関、配膳室、ポンプ室	適宜
	エレベーター	適宜
	トイレ	適宜
体育施設	アリーナ（主に中学校）	1室
	サブアリーナ（小学校）	1室
	グラウンド（中学校用、小学校用）	各1ヶ所
	野球場	1ヶ所
	テニスコート	2面
	プール	1ヶ所

5 新校舎計画イメージ

小中一貫校でありながら中学校エリアと小学校エリアを明確に分離し、それぞれにオープンスペースを確保する。両者の共有スペースとなる共同エリアを間に介在させ、交流スペースを確保する。小中の連携はもちろんのこと、地域との連携も図られるエリアとして位置づける。



■建物の構造

建物構造は耐震性能・耐火性能・コストを総合的に評価し以下の通り定める。

校舎：鉄筋コンクリート造

体育館：鉄骨造

プール：鉄骨造

	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造（大断面）
耐火性能	◎	◎	△
耐震性能	◎	◎	◎
耐用年数	50年	38年	24年
経済性	○	◎	△
地域貢献	△	△	◎

■共同利用施設

- 大階段ホール
- 図書室
- コンピュータ室

■普通教室（適度のサイズとは）

- 小学校 現況 伊小 68.8 m<sup>2</sup> 長小 46.8 m<sup>2</sup> 戸小 64.0 m<sup>2</sup> 山小 49.0 m<sup>2</sup> 江小 49.0 m<sup>2</sup>
- 中学校 現況 68.0 m<sup>2</sup>

■設置したい設備

- 黒板上部のLED照明
  - 冷暖房設備 CO<sub>2</sub>濃度調整空調設備
  - 保健室シャワールーム
  - 太陽光設備（防災対応）
  - 階段状の多目的ホール
  - 校内LAN設備
  - 防犯カメラ
  - 掲示しやすい壁
- 将来において必要となること
- 複式対応教室
  - 空き教室の利用

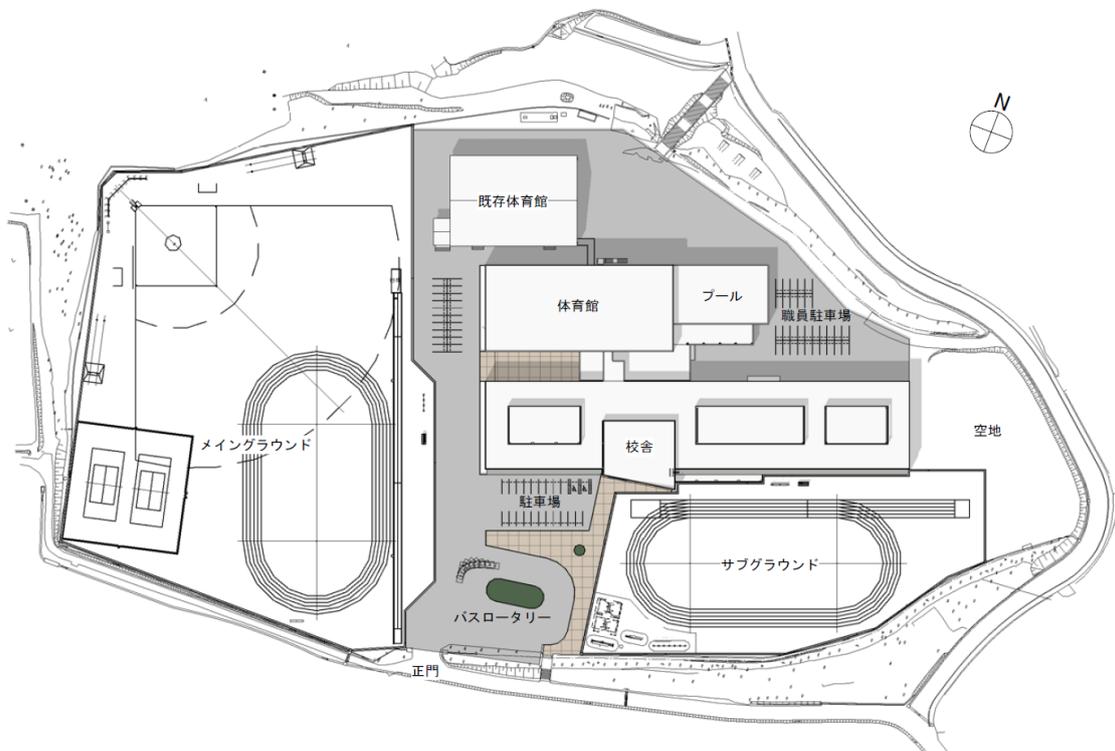
■配置計画概要

【全体配置計画】

- ・既存九戸中学校の体育館は残す計画とする。
- ・既存九戸中学校の体育館と適切な隣棟間隔を確保する。
- ・小学校から中学校までの多様な屋外活動が展開できる環境として、性格の異なる2つのグラウンドを配置する。  
 →メイングラウンド：中学校の部活や授業、運動会など  
 →サブグラウンド：主に小学校の校庭という位置づけ
- ・敷地東側は、将来の施設整備や増築等に有効利用できるよう空地としておく。

【外部動線計画】

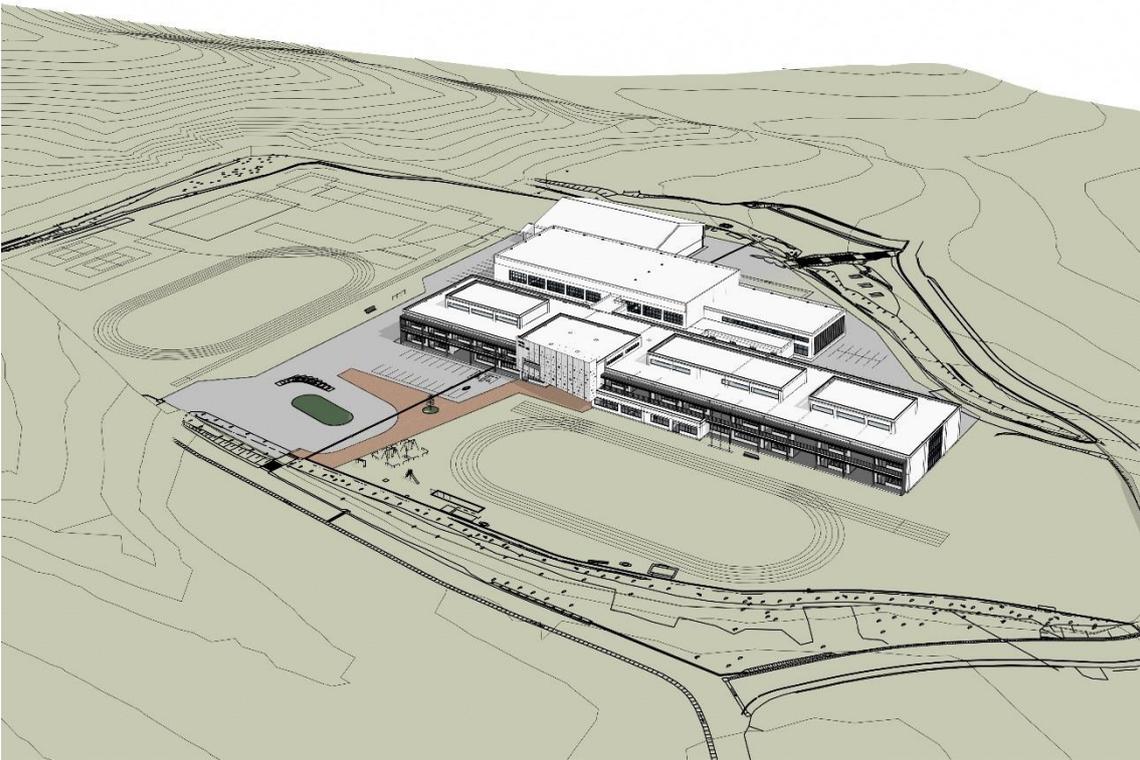
- ・敷地入口は既存のまま利用する。
- ・校舎の昇降口は正門から見通しの良い位置に計画し、分かりやすいアプローチを計画する。
- ・主な通学手段となるスクールバスの乗降場は、マイクロバス10台程度が同時に停車できるロータリーとして計画する。
- ・スクールバスの乗降場から昇降口までは、車道と交錯しない計画とし、児童生徒の安全に配慮する。



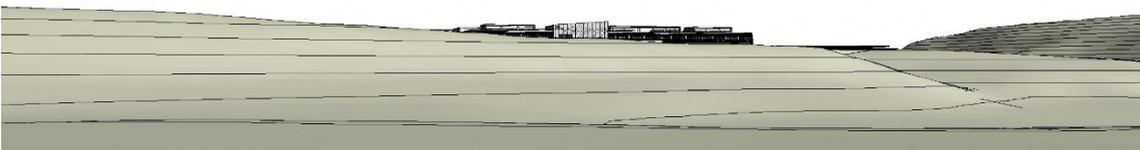
配置計画イメージ

■配置計画イメージ

- ・周囲の山林に溶け込むよう低層（2階建て）にて計画する。
- ・国道側から視認できる意匠計画とし、九戸村で唯一の学校としての存在感を出す。
- ・九戸村ならではの特征として九戸村をモチーフとした外観計画とする。



鳥瞰イメージ



国道からの外観イメージ